

政治のことば

意味の歴史を
めぐって

成沢 光 *narusawa akira*

勢

増

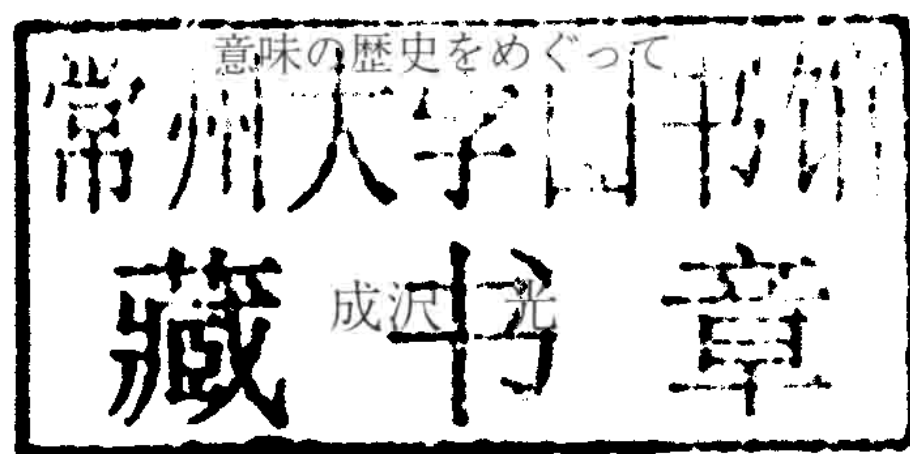
駁

舶

施
隆



政治のことば



講談社学術文庫

成沢 光（なるさわ あきら）

1939年生まれ。法政大学名誉教授。元国際基督教大学客員教授。日本政治史、公共政策論（生命政治論）専攻。著書に『現代日本の社会秩序——歴史的起源を求めて』、『生殖補助医療』（共編）、『国家の起源と伝承——古代インド社会史論』（共訳／ロミラ・ターバル著）など。



定価はカバーに表示
しております。

せいじ
政治のことば
いみ れきし
意味の歴史をめぐって

なるさわ あきら
成沢 光

2012年8月9日 第1刷発行

発行者 鈴木 哲

発行所 株式会社講談社

東京都文京区音羽 2-12-21 〒112-8001

電話 編集部 (03) 5395-3512

販売部 (03) 5395-5817

業務部 (03) 5395-3615

装 幀 蟹江征治

印 刷 豊国印刷株式会社

製 本 株式会社国宝社

本文データ制作 講談社デジタル製作部

© Akira Narusawa 2012 Printed in Japan

落丁本・乱丁本は、購入書店名を明記のうえ、小社業務部宛にお送りください。送料小社負担にてお取替えます。なお、この本についてのお問い合わせは学術図書第一出版部学術文庫宛にお願いいたします。

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することはたとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。[R]（日本複製権センター委託出版物）

ISBN978-4-06-292125-1

目次

政治のことば

はじめに.....	3
-----------	---

I 古代政治の語彙

1 ヲサム.....	16
------------	----

a 静態的秩序にヲサム	16
-------------	----

b ヲサムルツカサ	20
-----------	----

c ヲサムル者にヲサメル	22
--------------	----

2 カトル、ウナガス.....	26
-----------------	----

a カトルとカヂトル	26
------------	----

b 馭とウナガス	33
----------	----

3 マツリゴトとタテマツリモノ.....	39
----------------------	----

a 政の互酬性	39
---------	----

b タテマツリモノ	44
-----------	----

c ハカリゴト	50
---------	----

4 シル、シラス、シロシメス……………54

a シル——知と領有 54

b 見てシル 55

c 聞いてシル 59

d 知識による支配 62

e シラス・シロシメス 66

5 イキホヒと勢・威・徳・権……………70

a イキホヒと漢字 70

b 勢とイキホヒ 74

c 威とイキホヒ 76

d 徳とイキホヒ 79

e 有徳天皇のイキホヒ 82

f 権とイキホヒ 88

g 権とチカラ 92

h 権勢批判 95

II 国家意識と世界像をめぐる

1 蕃国と小国——古代日本人の対外観について……………104

2 〈辺土小国〉の日本

——中世的世界像の一側面について……………144

a 道元の抵抗 144

b 普遍への道 150

c 辺土の凡夫 156

d 凡夫の救済 159

e 辺地の往生 166

f 辺土の神聖化 170

g 大国と小国 180

h 神国観の形成 184

i 本地垂迹 189

III 近世都市意識の言語

都市社会の成立……………198

- | | | |
|----|-------------|-----|
| 1 | 早さの価値 | 198 |
| 2 | 時間意識の変化 | 203 |
| 3 | ツトメとカセギ | 208 |
| 4 | 身体観の変化 | 213 |
| 5 | 鑑賞する自然と聖俗空間 | 216 |
| 6 | 子育て観の変化 | 220 |
| 7 | ツキアヒ | 223 |
| 8 | 見た目の美 | 227 |
| 9 | 心の虚実 | 232 |
| 10 | 旅宿の風俗 | 234 |

IV 近代政治の語彙

1 「権利」「権力」について	238
2 統治	245
a govern・支配・統治	245
b 近代語「統治」の成立	247
c 天皇「統治」の意味	258
d 日本国憲法と「統治」	268
あとがき	274
文庫版あとがき	278
解説	283
保立道久	

政治のことば

意味の歴史をめぐって

成沢 光

講談社学術文庫

はじめに

「政治のことば」とは、政治現象に関連して使われたさまざまなことばのことである。政治的語彙を使用する主体は政治家とは限らないし、政治現象は狭い意味の政治的支配に関することだけでなく、社会変動に関わること、国家像や世界像に関すること、法制度に関することなど広い範囲にわたる。

伝統的な政治思想史の研究は対象を特定の思想家（荻生徂徠や福沢諭吉など）に絞って著作や関連資料から思想の特徴を説明しようとしてきた。また、政治史研究は支配者あるいは政治家の言動と政治過程に関心を集中してきた。本書の方法は、それらと異なり、政治に関する意識構造の歴史的研究を目指している。具体的には、いくつかのキー・ワードの用例を分析する過程を通じて、史料が語る当時の支配構造の特質、社会変動、あるいは政治観や政治風土（文化）の特徴を推定する。

日本語は、和語と漢語から構成されてきたので、本書の分析は漢語の中国文献における用例（近代では西欧語の用例）を参照しながら、和語と漢語が融合して醸し出す

政治意識の意味内容を史料の用例から明らかにすることを目指している。

I 「古代政治の語彙」では、政治的支配を表わす主要な語彙の用例分析から、第一に、古代政治の「互酬的」構造を明らかにする。支配者と被支配者が互いに「ヲサムル」ことによつて「ヲサメ」られ、あるべき秩序に「シヅメ」（鎮め、静め）ることをめざす関係に立つ特異な（古代中国には見られないような）構造である。それは「マツル」ことによつて「マツラレル」神人関係に照応していることから、〈政事すなわちマツリゴト〉とする観念（あるいは意識）の意味を推定する。第二に、「シル」、「シラス」や「イキホヒ」の用例から、呪術的な力による支配から制度と知識による支配への移行過程、および強権支配を正当化する中国の法家的政治意識との比較から見える日本政治の特徴を分析する。

II 「国家意識と世界像をめぐる」では、第一に「蕃国」「夷狄」などの語彙を手がかりに、古代における中華大国中心の世界像が日本に受容された後の語彙の意味変容から、日本の朝鮮諸国観の両義的な性格（文化的優位に立つ国を政治的に服属させたい）を探る。第二に、「辺土」「小国」などの語彙から、天竺（インド）中心の世界像と仏教的な末世観が受容される中で、鎌倉仏教の創始者たち（道元、親鸞、日蓮）

や当時の神道家の中で芽生えた新たな思想を明らかにする。

Ⅲ「近世都市意識の言語」では、荻生徂徠が「旅宿ノ境界」と呼んだ元禄享保時代の武士生活を手がかりに、城下町市民の時間意識、労働観、身体観、自然空間、子育て、人間関係などの特質から、都市社会、消費社会の誕生を解明する。

Ⅳ「近代政治の語彙」では、「権利」と「統治」などの語の用例から、西洋近代の政治用語や制度を受容した際に、試行錯誤のうちに選ばれた用語に込められた独自の意味を探りながら、「天皇統治」「地方自治」「政府」などの意味と近代的政治意識の特質に迫る。

本書の扱う語彙は主として政治関連だが、史料上の用例と文脈から語義を推定すると、必ずしも古語辞典や史料校訂者の解説する語義、語源論に従えない場合が出てくる。特に、漢字をやまとことばで（例えば、神をカミと）読む場合に生ずる化学反応的な意味変容については、言語研究者と歴史研究者がそれぞれの解釈を提示しあつて、より正確な語釈を求めるべきであろう。しかし、研究者が育つ教育環境が違つてなかなか交流できないかも知れない。そうした現状を打破する刺激をわずかでも読者に与えることができれば、本書の副効用と言えるだろう。

なお、本書では原本である平凡社版（一九八四年刊）の誤植を訂正し、引用文を含め新字体への統一を徹底した。また、小見出しを増やし、引用資料を少しでも読みやすくするためルビを増やし、難解な語には後の「」内に字句の説明を入れるなど若干筆を加えた。ただし、記述内容を変更するような訂正はしていない。

成沢 光

目次

政治のことば

はじめに.....	3
-----------	---

I 古代政治の語彙

1 ヲサム.....	16
------------	----

a 静態的秩序にヲサム	16
-------------	----

b ヲサムルツカサ	20
-----------	----

c ヲサムル者にヲサメル	22
--------------	----

2 カトル、ウナガス.....	26
-----------------	----

a カトルとカヂトル	26
------------	----

b 馭とウナガス	33
----------	----

3 マツリゴトとタテマツリモノ.....	39
----------------------	----

a 政の互酬性	39
---------	----

b タテマツリモノ	44
-----------	----

c ハカリゴト	50
---------	----